

記憶の視覚化

～タデウシュ・カントールの世界～

8/1 [日]
14:00-15:30
受付開始・開場 13:30

まつもと市民芸術館 M2会議室

講師：鴻英良 [演劇評論家]

入場無料 [要事前申込] 定員 25 名
※定員になり次第受付終了

【お申込み】

まつもと市民芸術館チケットセンター
窓口・TEL：0263-33-2200 (10:00～18:00)

申込開始：7月10日[土] 10:00

今年のア alp プロジェクトは、70年代以降の世界の演劇史に多大なる影響を与えたポーランドの演出家タデウシュ・カントールへのオマージュとして、「パレード、パレード」を上演します。代表作と言われる「死の教室」(1975年、クラクフ、クシストフォリ・ギャラリー初演)は1982年に日本でも上演され、その独創性に溢れた実験的な演出は衝撃を与えました。画家、美術家、大学講師、劇団主宰、さまざまな顔をもつ彼の魅力を、カントールの書籍を多数翻訳し、また2015年に東京で上演された「タニノとドワーフたちによる生誕100年記念公演」でドラマトウルクとして参加された演劇評論家の鴻英良氏をお招きし、カントールの人物像や作品の魅力などをご紹介します。

【講師プロフィール】

鴻 英良 (おおとり・ひでなが)

1948年生まれ。演劇批評家。

ウォーカー・アート・センター・グローバル委員 (ミネアポリス)、
国際演劇祭ラオコオン芸術監督 (カンパーナゲル、ハンブルグ)、
京都造形芸術大学舞台芸術研究センター副所長を歴任。

著書に『二十世紀劇場—歴史としての芸術と世界』(朝日新聞社、1998)、共著に『反響マシーン—リチャード・フォアマンの世界』(勁草書房、2000) 他、訳書にカントールの『芸術家よ、くたばれ!』(作品社、1990)、タルコフスキー『映像のポエジア』(キネマ旬報社、1988) など。

【公演情報】

TC アルププロジェクト
「パレード、パレード」

8月25日(水)～29日(日)
まつもと市民芸術館小ホール

構成・演出・出演：杉原邦生 [KUNIO]

出演：近藤隼 武居卓 深沢豊 毛利悟巳

伊藤奨 田村真央 能島瑞穂 堀田康平

緑川史絵 森田真和

芸術館レクチャーシリーズとは・・・

演劇やダンス、歌舞伎など、舞台をより楽しむための《学び》の時間。まつもと市民芸術館では、皆さまの想像力をさらに刺激し、様々な面から興味を持ってご観劇いただくための「レクチャーシリーズ」を開講いたします。

当館の自主事業公演に関連するゲストをお招きし、皆様と共に舞台芸術について学び、《知る》を楽しむ時間をお過ごしください。

お問い合わせ

まつもと市民芸術館チケットセンター
TEL：0263-33-2200 FAX：0263-33-3830
〒390-0815 長野県松本市深志 3-10-1

主催：一般財団法人松本市芸術文化振興財団
後援：松本市、松本市教育委員会